

5 保育福祉科 昼間コース 1年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	体育Ⅰ	2	
	体育Ⅱ		1
保育士養成課程 必 修 科 目	保育原理	2	
	教育原理	2	
	児童家庭福祉		2
	社会福祉	2	
	社会的養護	2	
	保育の心理学Ⅰ	2	
	保育の心理学Ⅱ		1
	子どもの保健Ⅰ a	2	
	子どもの保健Ⅰ b		2
	子どもの保健Ⅱ		1
	子どもの食と栄養		2
	保育課程論		2
	保育内容総論	1	
	乳児保育		2
	社会的養護内容		1
	保育表現技術・幼児体育Ⅰ	1	
	保育表現技術・楽典		1
	保育表現技術・ピアノⅠ	1	
	保育表現技術・造形Ⅰ	1	
	保育実習指導Ⅰ a		1
保育実習指導Ⅰ b		1	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	保育表現技術・ピアノⅡ		1
	保育表現技術・造形Ⅱ		1
必 修 科 目	実習研究概論	2	
	クラスルームⅠ		1
合 計 単 位 数		20	20
		40	

科 目	体育Ⅰ	講 師	宮脇 裕子
授業目標	<p>健やかで充実した人生を歩んでいける様、健康を支える栄養、休養そして運動の効用を考え、簡単かつ実質身体に有効で楽しい療法を体験しながら、健康維持増進できる意欲を培いたい。</p> <p>脳と心と体の免疫システムを学びながら、長引くストレスによる体力低下回避の方策を考察する。</p> <p>バイタリティーを養う為、時折レクリエーション的運動を実施する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 休養の要、ぐっすり睡眠のメカニズム 2. 健康づくりの為の防衛体力を支える免疫力向上の生活習慣、性格行動パターン診断 3. 競技スポーツを支える行動体力 トレーニングを安全に行う為の筋肉との関係 4. 筋肉疲労、血行促進に効く香りによるリンパマッサージ 5. 運動の現場で知っておくべき各ライフステージの安全限界と有効限界について 6. 頑張っているときの交感神経を副交感神経にギアチェンジするメリット 7. 免疫低下を招くストレスを解消するスポーツの効用、各種セラピー 8. 健康づくりの運動の具体的方法、リラクゼーション；ヨガストレッチ・ピラティス 9. レジスタンス運動としての体幹トレーニング、有酸素運動、肩こり腰痛体操 10. 食べる免疫力、うつにならない為の栄養学 11. 体育教育の現場に、トレーニングの5原則を取り入れる工夫 12. リバウンドしないダイエット、メタボにならない生涯スポーツとの関わり方 13. 音楽のワクワク感が免疫力を高めるダンスセラピー 14. 音楽を伴う身体表現活動の幼児に与える友達との共感作用 15. テーマをグループで検討し創意工夫して発表 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『健康増進科学概論—運動、栄養、休養—』今村裕行著他 東京教学社</p> <p>参考書……随時資料を配布するので、ファイルノートを作成して下さい。</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席第一。グループで体育と健康に関するテーマを選択し、課題を調査研究し独創的に考察しレポートする。発表への貢献度</p>		

科 目	体育Ⅱ	講 師	松村 朋子
授業目標	<p>本授業では、幼児教育における「幼児体育」のねらいを把握して、幼児主体の運動遊びを保育の中でどう展開していくか、その指導法を学習する。同時に、保育者自身も心身ともに健康な身体を保つことができるように、様々なスポーツや動きを体験していく。また、実際に指導案を作成して、模擬実習を経験することで、新たな課題を見つけて解決していく能力を養っていく。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児期にとって、遊びとは何か。運動の必要性、ステップ 2. 小型遊具を使った遊び1 フープ 3. フープを使って遊びを考える 4. 小型遊具を使った遊び2 棒とボールの制作 5. 棒とボールを使った遊びを考える 6. 身近なものを使った遊び 新聞紙 リボン 7. マットや巧技台を使って遊ぶ アスレチック 8. リズムにのって動く フォークダンス 9. 動物運動にチャレンジ 動物体操オリジナル 10. 年齢に相当したあそびの模擬指導準備1 グループ分け 指導内容の検討 11. 年齢に相当したあそびの模擬指導準備2 指導の練習 12. 指導案の模擬実習① 13. 指導案の模擬実習② 14. 模擬指導の評価と反省 ふりかえり 15. まとめ 予備 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……未定</p> <p>参考書……未定</p>		
評 価 の 方 法	<p>授業内小テスト、受講態度、記録ノート、模擬指導、グループ課題発表など 出席、受講態度、授業中の積極性を重視。授業記録ノートを最後に提出。 服装は体操着（ジャージ、Tシャツ）、胸にB5サイズの名前をつける。見学不可。A4サイズノート持参。</p>		

科 目	体育Ⅱ	講 師	大羽 瑠美子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期における運動の重要性を学びます ・ 幼児期の発育発達に合わせた運動の重要性を学びます ・ 幼児期に最適なコーディネーション運動の科学的根拠を学びます ・ 科学的根拠に基づいたコーチングを学びます ・ 体験を通じて指導することの面白さと難しさを感じ、知識を生かすことの大切さを学びます ・ 運動を通じて得た知識と経験を保育現場でどう生かすかを考えます 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：コーディネーション能力測定と運動体験、学ぶことのwhy, what, howを考える 2. 幼児期運動指針と現状 3. 幼児期に必要な運動 4. コーディネーション能力の5つの要素 5. コーディネーション運動の4つの形式 6. コーディネーション運動の4つの遊びの要素 7. コーディネーション運動の実践 8. コーディネーション運動の展開 9. 特徴（年齢・運動能力・体力・発達障害）の違いによる指導 10. 運動指導メニュー作成 11. 科学的根拠に基づいたコーチング 12. プログラム発表に向けたロールプレイング 13. プログラムの発表 14. 定期試験 15. 振り返り：「実際の自分（現実）」と「なりたい自分（期待像）」を考え、保育でどのように生かすかを定める 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『幼児のためのコーディネーション運動』明治図書 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業での取り組み方（過程）と定期試験（結果）による総合評価		

科 目	保育原理	講 師	村山 久美
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育とは何か？を理解する ・ 子どもの最善の利益のための保育について理解する ・ 保育者の専門性とは何であるか理解する ・ 保育所の役割と目的について理解する ・ 保育の現状、今後の課題について理解する 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 授業の進め方、保育の原理とは 2. 保育とは何か（保育の意義と目的） 3. 子どもの最善の利益とは、保護者との協働 4. 保育の社会的意義、保育所での保育、家庭での保育 5. 保育の基本① 6. 保育の基本② 7. 子ども理解① 8. 子ども理解② 9. 質の高い保育とは① 10. 質の高い保育とは② 11. 保育の歴史 12. 保育の制度（保育所・幼稚園） 13. 保育の現状と課題 14. まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし、授業内でプリントを配布します。 参考書 ……『保育所保育指針』		
評 価 の 方 法			

科 目	保育原理	講 師	瀬戸 朝子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の意義と目的を理解し、保育の内容と方法、保育者の専門性等を理解する 2. 「保育所保育指針」における保育の基本について理解する 3. 諸外国及び日本における保育の思想と歴史について理解する 4. 保育における今日的課題について考察する 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス「保育原理」とは 2. 保育とは① 保育の定義・原理 3. 保育とは② 子どもの最善の利益と保育 4. 保育の社会的意義 5. 子どもの発達 6. 保育と「子ども理解」 7. 西欧の保育の思想と歴史 8. 日本の保育の思想と歴史 9. 保育の計画 10. 保育者の専門性 11. 子育て支援と保育 12. 保育を巡る今日的状況と課題① 13. 保育を巡る今日的状況と課題② 14. 試験 15. 保育原理とは（まとめ） 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育原理—はじめて保育の扉をひらくあなたへ—』みらい、『保育所保育指針解説書』、『幼稚園教育要領解説』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業態度および授業への貢献度、小テスト、提出課題、定期試験等による総合評価		

科 目	教育原理	講 師	鈴木 康弘
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の意義や目的を理解し、自分なりに説明できる。 ・教育思想の変遷を学び、現代の教育を多角的に捉えられる。 ・わが国と諸外国の教育制度を理解したうえで、幼児教育の位置づけを考えられる。 ・教育の今日的課題を捉え、それらの解決に向けて自己の考えを述べることができる。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 教育観を支える子ども観 3. 諸外国における教育の歴史(1) 4. 諸外国における教育の歴史(2) 5. 日本における教育の歴史(1) 6. 日本における教育の歴史(2) 7. 現代の教育的課題 8. 中間まとめ 9. 教育課程と学習指導要領の変遷 10. 子どもの環境とメディアの変化 11. 地域とつながる学校文化 12. 子どもと家族への支援 13. 国内外のオルタナティブな学び 14. まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……適宜紹介する		
評 価 の 方 法	出席、毎回のリアクションペーパーおよびワークシート、授業態度、試験による総合評価		

科 目	教育原理	講 師	水引 貴子・鈴木 康弘
授業目標	・教育の意義や目的を理解し、自分なりに説明できる。 ・教育思想の変遷を学び、現代の教育を多角的に捉えられる。 ・わが国と諸外国の教育制度を理解したうえで、幼児教育の位置づけを考えられる。 ・教育の今日的課題を捉え、それらの解決に向けて自己の考えを述べるができる。		
授 業 の 画	1. オリエンテーション 2. 教育観を支える子ども観 3. 諸外国における教育の歴史(1) 4. 諸外国における教育の歴史(2) 5. 日本における教育の歴史(1) 6. 日本における教育の歴史(2) 7. 現代の教育的課題 8. 中間まとめ 9. 教育課程と学習指導要領の変遷 10. 子どもの環境とメディアの変化 11. 地域とつながる学校文化 12. 子どもと家族への支援 13. 国内外のオルタナティブな学び 14. まとめ 15. 試験		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……適宜紹介する		
評 価 の 方 法	出席、毎回のリアクションペーパーおよびワークシート、授業態度、試験による総合評価		

科 目	児童家庭福祉	講 師	山内 陽子
授業目標	少子化や貧困、子ども虐待をはじめとした問題が社会的に注目を集め、様々な対策が講じられている。子どもの数が減少しているにもかかわらず、社会的に養護を必要とする子どもや子育て支援を必要とする家庭は多く存在する。子どもが健やかに生まれ成長していく環境を整えることは、社会全体で取り組むべきことであり、保育士に求められる役割はとりわけ大きい。本講義では、児童家庭福祉（子ども家庭福祉）の枠組み、歴史的展開、法制度等について学び、子ども家庭福祉の現場での実践、現状について理解を深め、現場で活かせる知識の基礎を習得することを目的とする。		
授 業 の 画	1. オリエンテーション（講義の進め方等について） 2. 子ども家庭福祉の成立の歴史 3. 子ども家庭福祉の法律 4. 子ども家庭福祉の関連機関 5. 子ども家庭福祉の施策の現状と課題 6. 保育サービス 7. 母子保健サービスと健全育成 8. 社会的養護（施設養護①児童養護施設） 9. 社会的養護（施設養護②乳児院） 10. 社会的養護（家庭養護 里親制度を中心に） 11. 非行や情緒に問題を抱える子どもへの支援 12. ひとり親家庭への支援 13. 障がいのある子どもへの支援 14. 福祉従事者と子ども家庭福祉の実践 15. まとめと試験		
教科書 及び 参考書	教科書……指定なし 適宜資料を配布 参考書……授業の中で紹介していく		
評 価 の 方 法	出席状況、受講の姿勢及び態度、小テスト、リアクションペーパー、試験による総合評価		

科 目	児童家庭福祉	講 師	加藤 直子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く現状についての知識を深め、児童家庭福祉の理念である「子どもの最善の利益」の保障についての基本姿勢を学ぶ。 ・児童家庭福祉制度（法体系、関係機関等）への理解を深める。 ・子どもや家庭に対する倫理観を深め、保育者としての専門性を高めていく。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、児童家庭福祉とは 2. 子どもを取り巻く現状と「子どもの最善の利益」 3. 児童家庭福祉の歴史と子どもの権利 4. 児童福祉制度（法体系） 5. 児童福祉制度（関係機関） 6. 児童福祉施設(1) 7. 児童福祉施設(2) 8. 里親制度 9. 障害のある子どもの福祉 10. 子どもを取り巻く諸問題 11. ひとり親家庭への援助 12. 子育て支援の目的と施策 13. 母子保健について 14. 児童家庭福祉と保育 15. まとめ「保育者の専門性と家庭、関係機関との連携」 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育士を目指す人の児童家庭福祉』みらい 参考書 ……授業時に提示、もしくはプリントを配布		
評 価 の 法	出席状況、受講態度、授業後のリアクションペーパー提出状況等による総合評価		

科 目	社会福祉	講 師	久利 要子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 ・社会福祉と児童福祉及び児童の人権や家庭支援との関連性について理解する。 ・社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 ・社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組みについて理解する。 ・社会福祉の動向と課題について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の理念と概念 2. 社会福祉の歴史の変遷 3. 社会福祉の一分野としての児童家庭福祉 4. 児童の人権擁護と社会福祉 5. 家庭支援と社会福祉 6. 社会福祉の制度と法体系 7. 社会福祉行財政と実施機関 8. 社会福祉施設等 9. 社会福祉の専門職・実施者 10. 社会保障及び関連制度の概要 11. 社会福祉における相談援助の意義と原則 12. 社会福祉における相談援助の方法と技術 13. 社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み 14. 社会福祉の動向と課題 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育士をめざす人の社会福祉』(株)みらい、『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席および受講態度、レポート、試験による総合評価		

科 目	保育の心理学Ⅱ	講 師	大谷 由利子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の心理学Ⅰで学んだ心理学の概論的知識を、子どもの遊びや社会行動に関連付けながら理解を深めていく ・子どもをよく観察し、エスノグラフィーの手法を用いて記録をとり、一般的な発達論と個人の発達や学びを考えながら子どもへの理解を深めていく 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 観察レポートの書き方 3. 子どもの遊びと学び 4. 観察レポートの発表 子ども理解における発達の把握 5. 〃 6. 個人差や発達過程に応じた保育 7. 〃 8. 子どもの相互のかかわりと関係づくり 9. 〃 10. 自己主張と自己抑制 11. 〃 12. 自己の主体性の形成と発達援助 13. 〃 14. 愛着と生きる力の関係 15. テスト 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育の心理学Ⅱ』萌文書林 参考書 ……保育の心理学Ⅰで使用した教科書		
評 価 の 方 法	観察レポートの発表、出席、授業への参加状況、テスト		

科 目	子どもの保健Ⅰa	講 師	大久保 真理子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの身体発育及び生理機能、運動機能、精神機能の発達について理解する。 2. 子どもの心身の健康増進を図るための保健活動の意義を理解する。 3. 保育の場における環境の調整、衛生管理及び安全管理の方法について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの発育・発達と保健 (1)子どもの身体発育 2. 〃 3. (2)生理機能の発達 4. 〃 5. (3)運動機能の発達 6. 〃 7. (4)精神機能の発達 8. 〃 9. 子どもの健康と保健活動 (1)統計にみるわが国の小児保健の現状 10. (2)母子保健対策 11. 〃 12. 子どもの健康に影響を及ぼす因子と保健 (1)子どもをとりまく環境とその整備 13. (2)児童虐待について 14. (3)保育現場における事故防止・安全対策 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……新保育士養成講座第7巻『子どもの保健』全国社会福祉協議会 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、試験結果を総合して評価します (試験は授業内に3回小テストを行う予定です)		

科 目	保育内容総論	講 師	佐藤 博美
授業目標	教育要領、保育指針、教育・保育要領を知る 保育内容の理解と子どものあそびを考える 保育の基礎的な事を学び、他の教科と関連づける意識を高める 子ども主体性と子どもの視点から保育を考える 子どもの視点からの保育を考え、5領域の関連性と相互性の保育実践を体感する 保育者に求められていることや保育者の基本姿勢考える		
授 業 の 画	1. 保育の基礎知識 幼、保、認定こども園 2. 保育の史的展開 3. 保育内容の理解① 5領域 4. 保育内容の理解② 子どもの学びとあそび 5. 保育内容の理解③ 設定あそびの体験 6. 保育者の役割① 7. 保育者の役割② 8. 模擬保育の実践と検討① 9. 模擬保育の実践と検討② 10. 模擬保育の実践と検討③ 11. 幼、保、認定こども園と小学校の連携 12. 地域社会の子育て支援① 13. 地域社会の子育て支援② 14. テスト 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領』【原本】チャイルド社 参考書 ……		
評 価 の 法	授業程度と意欲、出欠席、提出物、課題、授業内テスト		

科 目	乳児保育	講 師	佐藤 博美
授業目標	乳児保育の理念と歴史、役割を学ぶ 乳児保育の重要性について考える ビデオ学習より、乳児の発達や基礎的知識学ぶ 沐浴人形を使用して沐浴や排せつなど実践を行う 保育者の視点から乳児のおもちゃや絵本を考える さまざまな乳児保育を学び、現場で必要とされる保育者の資質について考える		
授 業 の 画	1. 乳児保育の基礎知識 2. 乳児保育の歴史と海外の保育施設 3. 乳児保育内容の重要性 4. 乳児の発達① 0歳児から6か月 5. 乳児の発達② 6か月から1才 6. 乳児の発達③ 1才児 7. 乳児の発達④ 2歳児 8. さまざまな乳児保育① 保育所 9. さまざまな乳児保育② 認定子ども園 10. さまざまな乳児保育③ 乳児院 11. さまざまな乳児保育④ 家庭保育事業 12. さまざまな乳児保育⑤ その他の保育事業 13. 乳児のおもちゃと絵本 14. テスト 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『乳児保育演習ブック』ミネルヴァ書房 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	授業程度と意欲、出欠席、提出物、課題、授業内テスト		

科 目	保育表現技術・楽典	講 師	木下 裕子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽についての基本的な構成要素を理解する。 ・楽譜の読み方、書き方の基礎を学ぶ。 ・演奏や簡単な合奏を通して、子どもたちと音楽を分かち合うために何が必要か考察する。 ・子どものうたに親しみ、自ら楽しく表現指導できる力を養う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音の高さについて 2. 音の長さについて 3. 拍子・リズムについて 4. 音程について 5. 音階について 6. ピアノ演奏の基礎 7. 調について① 8. 調について② 9. 和音について① 10. 和音について② 11. 子どもの歌の伴奏 12. 音楽用語と記号 13. 合奏 14. 試験 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし プリントを配布する 参考書 ……ピアノ教本など、授業時に指示します		
評 価 の 方 法	受講態度、出席を重視し、試験・提出物等による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノ I	講 師	上田 亜津子・浦 啓子・国友 真知子・佐藤 季里 島内 亜津子・白鳥 久代・杉橋 祥子・鈴木 祥子 鈴木 真智子・福田 由子・山崎 洋子・渡辺 啓子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（へ音記号導入以上を目安とする）。 ・簡単な子どもの歌を弾き歌いできるようにする。 ・楽しい生き生きとした音楽表現を目指してピアノの練習を日々心掛ける。 ・毎回の個人レッスンについて、レッスン・進度表に記入していく。 （備考）経験者については初心者と同じ曲から始めて、自分のテクニクを確認しつつ、さらにピアノⅡの内容に進んで下さい。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：導入～両手で弾く（全音符・4分音符・2分音符・付点・休符について） 3. 〃：拍子記号・リピート記号 4. 〃：異なる左右の指の動き 5. 〃：スラー（滑らかなフレージングの演奏）の表現 6. 〃：タイの奏法 7. 〃：8分音符の導入 8. 〃：8分音符の導入 9. 〃：付点4分音符・8分音符の奏法 10. 〃：大譜表、へ音記号の読み方 11. 〃：大譜表、へ音記号の読み方 12. 〃：「むすんでひらいて」を弾いてみよう 13. 〃：ハ長調の弾き歌い演習 14. 〃：実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『おとなのためのバイエル教本』ドレミ楽譜出版社 『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形 I	講 師	宮地 明子
授業目標	<p>絵画表現における子供の発達を知り、基本的な絵画技法を中心に体験する。 現場での指導実践をイメージしながら素材の持つ子供への影響力や、指導側のねらいを考察する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業についてのガイダンス 子供の発達と表現 2. 絵画表現における子供の具体的発達段階 スクリブル（なぐりがき）を考える 3. 基礎表現1 タンポ 4. 基礎表現2 デカルコマニー 5. 基礎表現3 ビー玉コロコロ 6. 基礎表現4 はじき絵・スクラッチング 7. 基礎表現5 ふき絵・流し絵 8. 基礎表現6 染め・にじみ 9. 基礎表現7 フィンガーペイント 10. 基礎表現8 版画 11. 絵画表現を引き出す工夫① 12. 絵画表現を引き出す工夫② 13. 色彩について 14. 集団制作について 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし。授業内容に合わせて講師が必要資料は準備し配布します。</p> <p>参考書……特に指定なし。授業内容に合わせて講師が必要資料は準備し配布します。</p>		
評 価 の 方 法	出席・単位ごとのレポート提出と、授業への取り組みによる総合的評価。		

科 目	保育実習指導 I a	講 師	中西 和子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な学習体験である保育所実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。 ・実習に臨む目的意識、実習生としての常識を身につける。 ・実習日誌の記載方法を体得する。 ・学生自身が立案、作成した指導案や制作物の発表を行う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習の概要 2. 保育所の概要と実習生としての心構え 個人票作成 3. 保育所の1日の流れと保育内容の理解 4. 実習日誌を書く意義と記入の仕方 5. 幼児クラスの実習日誌の書き方 6. 乳児クラスの実習日誌の書き方 7. 実習目標を立てる① 8. 実習目標を立てる② 9. 実習に伴う書類の作成 事務手続きの確認 10. グループワークによる手遊び・絵本の指導案作成① 11. グループワークによる手遊び・絵本の指導案作成② オリエンテーションについて 12. グループワークによる手遊び・絵本の発表① 13. グループワークによる手遊び・絵本の発表② 14. まとめと振り返り 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『フォトランゲージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林 『保育所保育指針』</p> <p>参考書……授業内で配布したプリントはファイルにまとめておく</p>		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	保育実習指導 I b	講 師	井上 恵理・東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な学習経験である施設実習を有意義なものにするために必要な事項を学ぶ。 ・ 児童福祉施設の入所児、職員に対する理解を深める。 ・ 実習に臨む目的意識、問題意識を育てる。 ・ 実習日誌の記載方法を体得する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設実習の意義と目的 2. 児童福祉入所・通所施設実習の意義と目的 3. 児童養護施設について 4. 乳児院について 5. 知的障害児・者施設について 6. 母子生活支援施設について 7. 実習日誌の理解と演習① 8. 実習日誌の理解と演習② 9. 実習目標を立てる 10. 施設別講義① 11. 施設別講義② 12. 施設別講義③ 13. 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認 14. まとめと振り返り 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、発表、提出物、試験等による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅡ	講 師	上田 亜津子・浦 啓子・国友 真知子・佐藤 季里 白鳥 久代・杉浦 千里・鈴木 祥子・鈴木 真智子 関 義夫・山崎 洋子・渡辺 容子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノⅠに引き続き、ピアノの基礎表現技術を学んでいく。 ・ 現場で使える生活の歌や童謡の弾き歌いレパートリーを増やしていく。 ・ 日々の自己練習を積み重ねることで、個人レッスンで音楽表現の楽しさや共有する喜びを体験する。 ・ 毎回の個人レッスンについて、レッスン・進度表に記入していく。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：大譜表、へ音記号の復習 3. 〃 ：跳躍するメロディーの指の使い方（指替え、指広げ等） 4. 〃 ：ハ長調の音階練習 5. 〃 ：3連符と16分音符 6. 〃 ：イ短調の音階 7. 〃 ：ト長調の音階と曲 8. 〃 ：ト長調の童謡 9. 〃 ：ニ長調の音階と曲 10. 〃 ：ニ長調の童謡 11. 〃 ：ヘ長調の音階と曲 12. 〃 ：ヘ長調の童謡 13. 〃 ：生活の歌 14. 〃 ：実技試験の曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『おとなのためのバイエル教本』、『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形Ⅱ	講 師	目黒 祥元
授業目標	遊びの中で経験する造形活動本来の自由さと楽しさを童心に返って体験する。 課題制作を通して、技術を高め、柔軟な発想を養い、幼児造形に対する理解を広める。 実習では、幼児造形の枠にこだわらず制作する。 *今日の課題は？ 瞬発力を発揮して自分なりのアイデアで実習に取り組んで下さい。 *状況に応じて、授業内容、進行を適宜変更します。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造形実習の進め方などのガイダンス 2. 色を作る 色彩についての基礎の復習 3. 絵具と遊ぶ 4. 色紙を貼って 5. 1枚の紙を切って 6. 身近な物で紙工作 7. 粘土であそぶⅠ 8. 粘土であそぶⅡ 9. 幼児造形の発達段階復習と造形テクニックの体験Ⅰ 10. 幼児造形の発達段階復習と造形テクニックの体験Ⅱ 11. 刷る遊びと紙版画Ⅰ 12. 紙版画 13. 作品を展示する 14. 壁面装飾 15. 壁面装飾 		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	実習への取り組み、課題の完成状況、作品の評価、出席等の状況による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形Ⅱ	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	造形表現の意義を考え、様々な教材を用いて主に工作分野の課題（講義と実技）を行う。 学生各自は、内なる心の思いを作品に表現し、造形の喜び、面白さを体感する。また制作の過程から保育者と子どもの両方の立場を経験する。 そして子どもの主体的活動及び保育者の援助とは何かを考え、自らの保育における造形感、造形技術を養う。 *進行状況に合わせ内容や順序を適宜変更する。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 紙遊び（切る・丸める・折る・ちぎる・揉むなど。長い紙紐をつくろう。） 2. 長いへびや青虫制作（紙）トンボ作り（透明シート、ストロー） 3. ハロウィンのカボチャ制作（新聞紙とペーパーマット）コウモリ・クロネコ制作（ペーパーロール芯） 4. ミノムシ、フクロウ制作（ちぎり紙、はじき絵、にじみ絵。コーヒーフィルターと封筒） 5. キノコ制作（ペーパーロール芯とコーヒーフィルター） 6. 雪だるま制作（紙皿） 7. 校外学習。戸山公園でのスケッチとドングリ落ち葉ひろい 8. クリスマスツリーやリース制作（フロッタージュ技法。落ち葉などの自然物、コイン） 9. シール絵 10. グループによる壁画制作：季節をテーマに表現展の相談。プラン検討と決定。必要な材料道具を準備。 11. グループによる壁画制作：展示する作品の制作。（個別作業） 12. グループによる壁画制作：展示する舞台の制作。（集団作業） 13. グループによる壁画制作：飾り付けと仕上げ。完成。グループ発表。まとめ。 14. 作品集制作 15. まとめノート制作。授業内提出。 		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	総合的評価。特に授業態度を重視（毎回の授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な姿勢、適切な片付け、出席状況）及びまとめノート提出必須。		

科 目	実習研究概論	講 師	東郷 結香・中西 和子 水引 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士養成課程における保育実習の意義を知る。 ・保育実習Ⅰ（保育所・施設）、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲの概要を把握する。 ・保育所・施設について理解する。 ・実習生としての基礎知識・技能を身につけ、実習に期待を持つ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業説明 保育実習Ⅰ（保育所・施設）・保育実習Ⅱ・Ⅲの概要 2. 保育所について(1) 3. 保育所について(2) 4. 保育所現場職員による講義 5. 健康管理について 6. 実習の手続きについて 7. 保育実習Ⅱ・Ⅲについて(1) 8. 保育実習Ⅱ・Ⅲについて(2) 9. 施設について(1) 10. 施設について(2) 11. 実習生のマナー 12. 自己紹介スケッチブックシアターの制作 13. グループワーク 14. 試験 15. まとめと振り返り 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所保育指針』 参考書 ……授業内で配布したプリントはファイルにまとめておく		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	クラスルームⅠ	講 師	阿久津 摂・今泉 良一 東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した学校生活を送る上で、必要な留意事項について理解する。 ・クラス活動を通して、保育者に必要とされるコミュニケーション力、自主性、協調性、責任感、協働の態度等の資質を養う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. レクリエーション 2. 学生便覧の解説・キャンパスツアー 3. キャリアカード作成 4. 個別面談 5. レクリエーション 6. 写真撮影 7. チャイルド祭について 8. 振り返り・後期の学校生活に向けて 9. クラス活動 10. クラス活動 11. クラス活動 12. クラス活動 13. クラス活動 14. クラス活動 15. 振り返り・2年次の学校生活に向けて <p style="margin-left: 150px;">} 学校行事等の企画や準備・レクリエーション</p>		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況による評価		